

かつて、北陸新幹線（開業時は「長野行新幹線」）が開通していなかったころ、上野から軽井沢・長野方面は在来線の信越本線に乗りました。途中の横川～軽井沢間は、在来線で最も急勾配の 66.3‰（パーミル）の急登がありました。1000m で 63m 登るという勾配で、徒歩や自動車なら大した坂ではないですが、鉄道はもともと勾配に弱く、30‰でも「急坂」に属します。電車のモーターだけでは上れず、下りもブレーキの関係で危険なので、横川～軽井沢間は補助の機関車 2 両を上野寄りに連結していました。その為、乗降客も少ない山間の小駅である横川駅には、機関車連結・切り離しの為、全列車が数分間停車していました。

そのホームで売られていたのが、ご存知「峠の釜めし」です。新幹線の開通で在来線の横川～軽井沢間は廃止になりましたが、この名物駅弁は健在です。ほとんどは高速道路のサービスエリアで売られているのですが、現在でも横川駅、軽井沢駅、安中榛名駅などでは販売されています。先日久しぶりに購入しました。

少し前までは 900 円とお手頃だったのですが、現在は 1,400 円！ちょっと高い買い物なのですが、内容は豪華です。益子焼の容器の中に「山のご馳走」がぎっしりと詰まっている感じで、「おかわり」が欲しくなりました！

（2025 年 4 月中旬／軽井沢駅）

